

2025（令和7）年度入学試験問題

日 本 史

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. この問題の本文は全部で20ページです。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
6. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
 - (1) 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。
(機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。)
 - (2) 解答科目欄は、解答する科目を一つ選び科目の下のマーク欄を正確にマークすること。
マークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、無効となります。
 - (3) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
 - (4) 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
 - (5) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
 - (6) 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の（例）のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

（例） ③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄										
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	

7. 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

I 次のA、Bの文章を読んで、各設問に答えなさい。

A 平氏の一門である は、肥前国神埼（崎）荘の預所の立場を利用して海外との貿易に関与し、その発展に力をいれていた。そのこともあり、11世紀後半以降、日本と宋との間で商船の往来が活発化した。12世紀には、さらに盛んに貿易が行われた。 は、^(a)摂津国の大輪田泊を修築して瀬戸内海航路の安全をはかり宋商人の招来につとめた。こうして日宋貿易^(b)の利潤は、平氏の重要な経済基盤の1つとなった。続いて鎌倉幕府の時代においても、日宋の間には正式な国交は開かれなかったが、通交は盛んに行われ、日本は宋を中心とする東アジア通商圏に組み入れられていた。しかし13世紀初頭にモンゴル帝国が成立すると、 は中国を支配するために都を に移し国号を元と改めて、日本にたびたび朝貢を強要してきた。こうしたモンゴル帝国の動きが東アジアに大きな影響を与える中、日本列島の南北でも新たな動きがみられた。南の琉球では、各地の が^(c)グスクを拠点として勢力を広げ、やがて山北・中山・山南の3つの勢力に統合されていった。また北の蝦夷ヶ島では13世紀にはアイヌの文化が生まれた。アイヌたちは、 を根拠地として北条氏の得宗の支配下にあった との交易を行っていたことが知られる。またアイヌのうち に住んでいた人びとは、モンゴルと交戦しており、モンゴルの影響力は九州だけでなく、東北にも及んでいたのである。

〔設問1〕 空欄 ， に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- | | | | | |
|---|---|-----|---|-----|
| ① | ア | 平正盛 | イ | 平忠盛 |
| ② | ア | 平正盛 | イ | 平清盛 |
| ③ | ア | 平清盛 | イ | 平忠盛 |
| ④ | ア | 平清盛 | イ | 平正盛 |
| ⑤ | ア | 平忠盛 | イ | 平清盛 |
| ⑥ | ア | 平忠盛 | イ | 平正盛 |

〔設問 2〕 下線部(a)に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- a この地は別名を兵庫湊・兵庫島と言った。
- b この地は摂津国福原に近い要港であった。
- c この地において、のちに平氏と源氏との間で平和交渉が行われた。
- d この地には、後白河法皇の命令で建立された法勝寺があった。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問 3〕 下線部(b)に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- a 12世紀に宋が遼に圧迫されて南宋になると、さらに盛んになった。
- b 日本からの輸出品には、刀剣や扇があった。
- c 高麗は南宋に服属しており、貿易には参加しなかった。
- d 日本への輸入品には、香料と書籍があった。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問 4〕 空欄 , に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① ウ チンギス＝ハン エ 大都
- ② ウ チンギス＝ハン エ 成都
- ③ ウ フビライ＝ハン エ 大都
- ④ ウ フビライ＝ハン エ 成都

〔設問5〕 空欄 **オ** に入る語として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **5** にマークしなさい。

- ① ^{おびと}首 ② 里長 ③ 保司 ④ 按司

〔設問6〕 下線部(c)に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **6** にマークしなさい。

- a 擦文文化を経て農耕生活が始まることにより、形成されてきた。
 b 代表的なものとしては、玉城城がある。
 c 石垣を持つ城のみを指して、使われる名称である。
 d 代表的なものとしては、今帰仁城がある。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
 ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問7〕 空欄 **カ** , **キ** に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **7** にマークしなさい。

- ① カ 函館 キ 安藤（安東）氏
 ② カ 函館 キ 松前氏
 ③ カ 十三湊 キ 安藤（安東）氏
 ④ カ 十三湊 キ 松前氏
 ⑤ カ 根室 キ 安藤（安東）氏
 ⑥ カ 根室 キ 松前氏

〔設問8〕 空欄 **ク** に入る地名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **8** にマークしなさい。

- ① シラオイ ② セタナイ ③ エトロフ ④ サハリン

B 14世紀後半から15世紀にかけて、室町幕府が権力を確立してゆく^(d)。その過程において、東アジアの情勢も大きく転換していった。南北朝の動乱の頃から九州地方を基盤とする倭寇^(e)が、朝鮮半島や中国大陸の沿岸を襲い恐れられていた。蒙古襲来ののちも元と日本との間には、正式な通交によらない、商船の往来^(f)があるに過ぎなかった。しかし中国と朝鮮半島では大きな政治的変動が起こった。中国では1368年、ケが元の支配を排し、漢民族の王朝である明を建国した。明は中華思想にもとづいた伝統的な国際秩序の回復を目指し、近隣の諸国に通交を求めた。一方朝鮮半島では、倭寇を撃退して名声をあげた武将であるコが高麗を倒し、朝鮮を建て、日本に通交と倭寇の禁止を求めた。そして明の呼びかけを知った將軍足利義満は、第1回の遣明船の使者を派遣して国交を開いた^(g)。明を中心とする国際秩序の中で行われたこの貿易を日明貿易^(h)という。

〔設問9〕 下線部(d)に関連して、室町幕府の政策に関して述べた次の文i～iiiについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 9 にマークしなさい。

- i 足利義満により南朝との交渉が開始され、南北朝の合体がなされた。
- ii 京都の室町に、政務をとるための壮麗な邸宅である花の御所が造成された。
- iii 有力守護である大内義弘が討伐された。

- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
- ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

〔設問10〕 下線部(e)に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 10 にマークしなさい。

- a 対馬・壱岐・肥前松浦の住民に加えて、高麗の民が加わっていたこともあった。
- b 元が日本に使者を送り禁止を求めたが、成功しなかった。
- c 倭寇船のなかには、「八幡大菩薩」の幟を立てたものがあった。
- d 戦国時代以降、倭寇は、徳川家康による「海賊取締令」により衰退した。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問11〕 下線部(f)に関連して、派遣された船に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 11 にマークしなさい。

- a 足利尊氏らは、造営の費用調達のため、南禅寺船を元に派遣した。
- b 前例として、鎌倉幕府による寿福寺修造のための船の派遣がある。
- c 前例として、鎌倉幕府による建長寺修造のための船の派遣がある。
- d この貿易船とみられる沈没船が、韓国新安沖において1970年代に発見された。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問12〕 空欄 , に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① ケ 朱元璋 コ 李舜臣
- ② ケ 朱元璋 コ 李成桂
- ③ ケ 朱舜水 コ 李舜臣
- ④ ケ 朱舜水 コ 李成桂

〔設問13〕 下線部(g)に関連して、遣明船の実態について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 第1回遣明船の使は、堺の商人である肥富のみであった。
- ② 第1回遣明船の正使は周文、副使は明兆である。
- ③ 第1回遣明船の正使は祖阿、副使は肥富である。
- ④ 遣明船の姿は、『一遍聖絵』に描かれている。

〔設問14〕 下線部(h)に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- a 歴代の室町将軍が明の皇帝に送る公文書には「日本国王源道義」と署名した。
- b 日本からは、銅銭や硫黄が輸出された。
- c 明は、倭寇対策として国王以外には貿易を認めない方針（海禁政策）をとった。
- d 足利義持はこの貿易を一時中断したが、足利義教の代になって再開された。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

Ⅱ 次のA～Cの文章を読んで、各設問に答えなさい。なお、読みやすくするために、史料の表記を書き改めたり省略した部分がある。

A 林家は、代々儒者として江戸幕府に仕え、幕府の教育・学問・編纂事業のみならず法制・外交においても重要な役割を果たした。

林家初代となる林羅山(1583～1657)は京都に生まれた。五山の一つの相国寺の禅僧であった の門人となり、その推薦によって徳川家康に仕えた。羅山は、家康・秀忠・家光・家綱の4代の将軍に儒学を講じたほか、漢文に関する学識を活かし、法令や外交文書の作成でも貢献した。3代将軍家光の時には、^(a)武家諸法度の起草に関与し、江戸城大広間において諸大名を前にして、これを読み上げた。また^(b)朝鮮通信使への国書の作成にもあたった。家光から上野忍ヶ岡に屋敷を与えられ、そこに家塾を開き、大名・旗本の子弟の教育、儒学者の養成にあたったが、 の大火で書庫・蔵書を焼失し、落胆して病死したとされる。

2代目の林鶯峰(1618～1680)は羅山の三男で、若い頃から、幕府の評定所に出仕して羅山の活動を補佐した。^(c)4代将軍家綱に儒学を講じ、幕府から弘文院の称号を得たほか、家綱の代の武家諸法度の改訂など幕政にも参与した。また羅山とともに日本の通史の編纂を命じられ、羅山の死後も上野忍ヶ岡の家塾で編纂事業を継続し、これを として完成させた。

〔設問1〕 空欄 , に入る語の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|----|---|---|------|---|----|
| ① | ア | 藤原惺窩 | イ | 明和 | ② | ア | 藤原惺窩 | イ | 明暦 |
| ③ | ア | 中江藤樹 | イ | 明和 | ④ | ア | 中江藤樹 | イ | 明暦 |

〔設問2〕 下線部(a)に関して、家光の時代に出された武家諸法度に含まれる条文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **16** にマークしなさい。

- ① 文武忠孝を励まし礼儀を正すべき事
- ② 大名小名、在江戸交替、相定むる所なり、毎歳夏四月中参勤致すべし
- ③ 武家の官位は公家当官の外たるべき事
- ④ 殉死の儀、いよいよ制禁せしむる事

〔設問3〕 下線部(b)に関連して、近世の日朝関係について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **17** にマークしなさい。

- ① 対馬藩主宗氏と朝鮮との間に結ばれた癸亥約条が日朝関係の基本となった。
- ② 朝鮮南部の三浦に、日本人居留地としての倭館が設置された。
- ③ 朝鮮からの使節のうち初期の3回は、文禄・慶長の役の朝鮮人捕虜の返還を目的とした。
- ④ 朝鮮からの国書の宛名は、家光の時代から「日本国王」と書き改められた。

〔設問 4〕 下線部(c)が将軍の地位にあった期間（1651～1680年）に起きた事件に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 18 にマークしなさい。

- a 島原・天草地方の農民たちが、過酷な年貢取り立てやキリスト教弾圧に反抗して一揆を起こした。
- b 大老の堀田正俊が江戸城内で暗殺された。
- c 牢人の別木庄左衛門が老中襲撃の計画を立てたが、事前に発覚した。
- d 大首長シャクシャインにひきいられたアイヌが蜂起した。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問 5〕 空欄 ウ に入る語として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 19 にマークしなさい。

- ① 『本朝通鑑』 ② 『大日本史』
- ③ 『中朝事実』 ④ 『日本誌』

B 3代目の林鳳岡（1644～1732）は鷲峰の二男で、家綱・綱吉・家宣・家継・吉宗の5代の将軍に仕えた。このうち5代将軍綱吉は儒学を重んじたため、林家の鳳岡を厚遇した。綱吉は、上野忍ヶ岡にあった林家の聖堂（孔子廟）と家塾を湯島に移し、聖堂学問所として整備した。鳳岡の祖父羅山、父鷲峰はいずれも剃髪し僧侶として処遇されたが、鳳岡は髪を伸ばすことを許されて、大学頭の称号を与えられた。これにより林家が儒者として幕府の教育・学問を司るかたちが確立した。

6代将軍家宣の時代になると、家宣の信任があつた儒者・新井白石が政治を主導した。新しい武家諸法度には白石の案が用いられ、朝鮮使節への対応も白石が執り行うなど、鳳岡は活躍の場を失った。

(e) 8代将軍吉宗の時代になり白石が退けられると、林家は復権を遂げた。しか

し吉宗が政治に関して意見を求めた儒者は、林家の鳳岡らではなく、荻生徂徠^(f)、室鳩巢らであった。林家は、鳳岡以降も4代、5代、6代と続いて大学頭に任じられ、幕府の教育・学問を司ったが、しだいに影響力を失っていった。

〔設問6〕 下線部(d)に関して述べた次の文a～dについて、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 20 にマークしなさい。

- a 3代将軍徳川家光の子である。
- b 間部詮房を側用人に登用して、政治をおこなわせた。
- c 裁判や刑の基準を定めた公事方御定書を制定した。
- d 近親者が死んだ際に喪に服する日数などを定めた服忌令を發布した。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問7〕 下線部(e)について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 21 にマークしなさい。

- ① 三家のうち尾張家の当主となり、その後に徳川宗家を継いだ。
- ② 4代将軍家綱が実施して以来おこなわれていなかった日光社参を実施した。
- ③ 新しい宮家（親王家）の創設を認めて天皇家と徳川家との結びつきを強めた。
- ④ 次男宗武と四男宗尹に、それぞれ一橋家・清水家を立てさせた。

〔設問 8〕 下線部(f)に関連して、荻生徂徠とその弟子太宰春台について述べた次の文 X・Y と、それに関連する著作の名 a～d との組み合わせとして最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 22 にマークしなさい。

X 荻生徂徠は、都市の膨張をおさえることや武士の土着が必要であることを説いた。

Y 太宰春台は、武士も商業をおこない、専売制度によって利益をあげるべきことを主張した。

- a 『稽古談』 b 『政談』
c 『経世秘策』 d 『経済録拾遺』

- ① X - a Y - c ② X - a Y - d
③ X - b Y - c ④ X - b Y - d

〔設問 9〕 江戸幕府の学問政策に関して述べた次の文 i～iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 23 にマークしなさい。

- i 幕府は、塙保己一を援助し、和学講談所を設立させた。
ii 幕府は、蛮書和解御用を設け、蘭書の翻訳をおこなわせた。
iii 幕府は、歌学方に北村季吟を登用し、和歌を管掌させた。

- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

C 7代目の林錦峰(1767～1793)は、旗本戸田家の生まれである。6代鳳潭(鳳岡の曾孫)が若くして没したあと、養子として林家に迎えられた。錦峰が当主となったその年、老中松平定信^(g)が幕政の改革を始めた。定信は旗本・御家人に対し文武両道を奨励し、そのために聖堂学問所の立て直しをはかった。まず、儒官に エ ら優秀な儒者を登用し、さらに聖堂学問所で朱子学以外の学問を教えることを禁じた。

8代目の林述斎(1768～1841)は、美濃国岩村藩主松平家の生まれである。

7代錦峰が若くして没したあと、養子として林家を継いだ。幕府による聖堂学問所の改革は続いており、述斎の代に聖堂学問所は幕府の直轄に改められ、昌平坂学問所（昌平黉）とよばれるようになった。述斎は、歴代将軍の事績を記した史書（『徳川実紀』）など、各種の編纂事業にあたったほか、朝鮮通信使の応接に関わる制度改革、異国船への対応など幕政にも関係し、林家の威信の回復に尽くした。

述斎の三男に、旗本の鳥居家の婿養子となった鳥居耀蔵（1796～1873）がいる。耀蔵は洋学者に強い反感をいだき、目付に任じられると洋学者を厳しく取り締まり、モリソン号事件を批判した オ らを逮捕・処罰した（蛸社の獄）。老中水野忠邦の政治改革に際しては、町奉行として江戸市中の風俗取り締まりに辣腕をふるい、人々に恐れられた。その後、オランダ国王から送られた国書の取り扱いを巡る評議で老中阿部正弘と対立し罷免され、丸亀藩京極家に預けられた。

11代目の林復斎（1800～1859）は8代述斎の子で、分家の跡を継ぎ、学問所御用をつとめた。10代壮軒（復斎の兄の子）が没したあと、数え54歳で宗家を相続した。その翌年、アメリカ使節ペリーが再来航すると、復斎はアメリカ応接掛の筆頭として浦賀に赴き、漢文能力を駆使して交渉にあたり、日米和親条約⁽ⁱ⁾の締結にこぎつけた。また国際環境の緊張という時代の要請に応じた対外関係史料集（『通航一覧』）の編纂にもあたった。

復斎の死後は、その子学斎が12代目として跡を継いだ。幕府倒壊後、職を離れた。昌平坂学問所は新政府に接収され、昌平学校と改称したのち、学制改正で休校、廃絶した。

〔設問10〕 下線部(g)がおこなった政策について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 24 にマークしなさい。

- ① 飢饉に備えて、各地に社倉・義倉をつくらせて米穀を蓄えさせた。
- ② はじめての定量の計数銀貨である南鐐二朱銀を鑄造させた。
- ③ 印旛沼・手賀沼の大規模な干拓工事を始めた。
- ④ 十組間屋などの株仲間の解散を命じた。

〔設問11〕 空欄 エ , オ に入る人名の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 25 にマークしなさい。

- ① エ 中井竹山 オ 大槻玄沢
- ② エ 中井竹山 オ 渡辺崋山
- ③ エ 柴野栗山 オ 大槻玄沢
- ④ エ 柴野栗山 オ 渡辺崋山

〔設問12〕 下線部(h)に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 26 にマークしなさい。

- a 歌舞伎（三座）が町方中心部から浅草に移転させられた。
- b 人情本作家の為永春水が処罰された。
- c 洒落本作家の山東京伝が処罰された。
- d 浮世絵版画の出版元である蔦屋重三郎が処罰された。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
- ④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d

〔設問13〕 下線部(i)について述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **27** にマークしなさい。

- ① 大老井伊直弼が調印を断行した。
- ② 日本に滞在するアメリカ人への領事裁判権を認めた。
- ③ 開港場に居留地を設け、アメリカ人の国内旅行を認めた。
- ④ アメリカに一方的な最恵国待遇を与えることを決めた。

〔設問14〕 林復斎は1859年に死亡した。彼の死後に起きた外交に関する事件に関して述べた次の文 i ～ iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 **28** にマークしなさい。

- i 孝明天皇が通商条約の締結を勅許した。
- ii 幕府の使節が、咸臨丸で太平洋を横断してアメリカに渡った。
- iii 改税約書が調印され、関税率が引き下げられた。

- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
- ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

Ⅲ 次のA～Cの文章を読んで、各設問に答えなさい。なお、読みやすくするために、史料の表記を書き改めたり省略した部分がある。

A 明治期から昭和期までジャーナリストや政治家として活躍した石橋湛山は、1884年、^(a)日蓮宗僧侶の杉田湛誓と石橋きん夫婦の長男石橋省三として東京で生まれた。父の湛誓が1885年に郷里である山梨県の寺の住職に転じると、きんや省三も山梨へ移住した。^(b)日清戦争が始まる1894年に湛誓が静岡県の寺の住職へ転じると、省三は父の知り合いである山梨県内の寺の住職に預けられ、両親と離れて少年時代を過ごした。省三は入学した山梨県立尋常中学校で二度、落第したが、そのおかげで ア 出身の大島正健校長と出会い、自由や自主性を重んじる大島の教育方針に多大な影響を受けた。中学を卒業した省三は名を湛山に改め、1904年に早稲田大学文学科へ入学すると、^(c)哲学を学び、同科を首席で卒業した。

〔設問1〕 下線部(a)に関連して、明治時代初めの宗教に関わる出来事に関して述べた次の文 i～iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 29 にマークしなさい。

i キリスト教禁止の高札が撤廃された。

ii 政府が神仏分離令を出した。

iii 政府が大教宣布の詔を発した。

① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii

④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

〔設問 2〕 下線部(b)に関連して、日清戦争の開戦前に起きた朝鮮をめぐる出来事に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **30** にマークしなさい。

- ① 朝鮮でキリスト教徒を中心に減税と排日を要求する甲午農民戦争が起きた。
- ② 清は朝鮮政府の要請を受けて、甲午農民戦争を鎮めるために出兵した。
- ③ 清は下関条約に従って、日本に清の朝鮮への出兵を通知し、日本も朝鮮に出兵した。
- ④ イギリスは日英通商航海条約に基づき、日本の朝鮮出兵を厳しく非難した。

〔設問 3〕 空欄 **ア** に入るのは1876年にアメリカ人クラークを招いて開校した学校である。この学校名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **31** にマークしなさい。

- ① 駒場農学校 ② 東京専門学校
- ③ 熊本洋学校 ④ 札幌農学校

〔設問 4〕 下線部(c)に関連して、明治末期に刊行された哲学書『善の研究』の著者の名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 **32** にマークしなさい。

- ① 和辻哲郎 ② 西田幾多郎
- ③ 山田盛太郎 ④ 羽仁五郎

B 石橋湛山は大学卒業翌年の1908年、東京毎日新聞^(d)に入社し社会部に配属されたが、同新聞社内の内部分裂や販売不振もあり、1909年夏に退社した。同年、徴兵^(e)検査に合格した石橋は、東京の麻布の第一師団歩兵第三連隊に入営し、約1年の軍隊生活を送った。

その後、1911年に東洋経済新報社へ入社した。そして同社が発行した社会評

論誌『東洋時論』の編集を担当し、「共和演説事件」で文部大臣を辞した経歴のある に取材する等の経験をした。『東洋時論』が1912年に廃刊すると、『東洋経済新報』の記者となった。石橋は同誌上で日本の帝国主義的な外交政策を批判すると共に、^(f) 三・一独立運動 ^(g) を支持する等、中国や朝鮮の民族自決を支持した。

〔設問5〕 下線部(d)に関連して、明治時代初期の新聞創刊を支えた、鉛製活字の量産技術の導入に成功した人物の名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 本木昌造 ② 臥雲辰致
③ 江川太郎左衛門 ④ 伊能忠敬

〔設問6〕 下線部(e)に関連して述べた次の文 i ～ iii について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- i 政府は徴兵令を公布した。
ii 政府は兵部省を設置した。
iii 政府は徴兵告諭を出した。
- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

〔設問7〕 空欄 に入る人物の名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 板垣退助 ② 桂太郎 ③ 尾崎行雄 ④ 西園寺公望

〔設問 8〕 下線部(f)に関連して、石橋湛山が第一次世界大戦時の日本が中国におけるドイツの根拠地を侵略した政策を批判して書いた、次の史料の に入る地名として最も適切なものを、下の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

「 陥落が吾輩の予想より遥かに早かりしは、同時に戦争の不幸のまた意外に少なりし意味において、国民と共に深く喜ぶ処なり。しかれども、かくて我が軍の手に帰せる は、結局いかに処分するを以て、最も得策となすべきか。」

(『東洋経済新報』1914年11月15日号の社説)

- ① 威海衛 ② 旅順 ③ 大連 ④ 青島

〔設問 9〕 下線部(g)に関して述べた文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① この運動の中で、伊藤博文が民族運動家の安重根に暗殺された。
 ② この運動後に文官の朝鮮総督就任を認める官制改正が行われ、寺内正毅が朝鮮総督に就いた。
 ③ この運動は京城のパゴダ公園で独立宣言が読み上げられたことをきっかけにして、朝鮮全土に広がっていった。
 ④ この運動後、朝鮮において憲兵警察制度が導入された。

C 石橋湛山は1925年、東洋経済新報社代表取締役役に就いた。この頃から石橋は新平価による金解禁論を唱え始め、 内閣が開始した旧平価による金輸 ^(h) 出解禁政策を厳しく批判したことで、自身や『東洋経済新報』の評価を高めた。また石橋は自社ビルを利用し、三井合名会社理事長の ⁽ⁱ⁾ 団琢磨ら財界人とも相談して経済倶楽部を設立し、講演会を開いて全国で会員数を増やした。石橋らの活動は、大衆化の中で、講演会の流行の先駆けとなった。

1930年代以降の戦争の時代に『東洋経済新報』に対する言論統制は徐々に強

まった。1940年代には政府の用紙統制も加わり、同誌は窮地に追い込まれながら敗戦を迎えた。

敗戦後の石橋湛山は、第一次吉田茂内閣で大蔵大臣に抜擢され、1947年の衆議院議員総選挙^(j)で初当選したが、財政政策等でGHQと対立し、公職追放された。追放解除後の石橋は反吉田勢力に加わり、55年の自由民主党結成に参加し、56年末、第二代総裁として首相に就いたが、翌年2月に病気のため首相を^(k)辞任した。

〔設問10〕 空欄 に入る人物の名として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 田中義一 ② 加藤高明 ③ 浜口雄幸 ④ 犬養毅

〔設問11〕 下線部(h)に関連して、この政策を開始した1930年前後の時期の国際経済状況と日本政府による経済政策について述べた次の文 i ～ iii について、古いものから順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- i 日本政府は重要産業統制法を制定した。
 ii 日本政府は金輸出の再禁止を断行した。
 iii ニューヨークのウォール街で株価の大暴落が始まった。

- ① i - ii - iii ② i - iii - ii ③ ii - i - iii
 ④ ii - iii - i ⑤ iii - i - ii ⑥ iii - ii - i

〔設問12〕 下線部(i)らが殺害された事件の名称として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 にマークしなさい。

- ① 三月事件 ② 血盟団事件
 ③ 五・一五事件 ④ 十月事件

〔設問13〕 下線部(j)の直後に連立内閣を組んだ政党の名称として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選び、解答欄 41 にマークしなさい。

- ① 日本社会党 ② 日本自由党
③ 民主党 ④ 国民協同党

〔設問14〕 下線部(k)の直後、首相に就いた岸信介の経歴や岸内閣の施策に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組み合わせとして最も適切なものを、下の①～⑥のうちから一つ選び、解答欄 42 にマークしなさい。

- a 岸は文部大臣として滝川事件に関係したことを批判され、戦後に公職追放された。
b 岸内閣は教員の勤務成績の評定を全国いっせいに実施した。
c 岸内閣は警察官の権限を強化する警察官職務執行法の改正を実現した。
d 岸内閣と与党の自民党は、新安保条約の批准案を衆議院で強行採決した。

- ① a・b ② a・c ③ a・d
④ b・c ⑤ b・d ⑥ c・d